



日本の全要素生産性(TFP)上昇率

- 2016年の全要素生産性上昇率は+0.2% (前年比)。
- 90年代に日本の全要素生産性上昇率は、2000年代前半になって改善。
- 2000年代後半にはリーマン・ショックの影響などで再び落ち込んだものの、2010年代は+1.1%(年平均)と、2000年代前半とほぼ同じ水準まで回復している。

■ 2017年のデータ改定に伴う利用データの変更について

TFP算出にあたり利用してきた資本データは、これまでの民間企業資本ストック(内閣府)が廃止されたため、国民経済計算年次推計・固定資本ストックマトリックス(内閣府)へと変更した。

